

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和6年度第1回入間市環境審議会
開 催 日 時	令和6年7月3日(水) 午後2時00分 開会・午後3時30分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 B 棟5階 全員協議会室
議 長 氏 名	黒瀧 孝秀
出席委員(者)氏名	黒瀧 孝秀、稲子谷 昂子、倉田 まさみ、小平 美雪、坂野 晶、嶋田 知英、高村 賢二、手塚 晋、新関 隆、平井 純子、平塚 基志、牧田 誉子、山畑 雅浩
欠席委員(者)氏名	浦 国男、吉野 珠美
説明者の職氏名	エコ・クリーン政策課 主査 西村 卓也
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 異動者への委嘱状交付 3 会長あいさつ 4 副会長の選出 5 議題 第三次入間市環境基本計画の中間見直しについて (1)見直しの方針について (2)市民アンケートの実施について 6 その他 7 閉会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	資料1 第三次入間市環境基本計画の中間見直しについて 資料2 アンケート調査の実施について 資料3 R6 環境審議会スケジュール
事務局職員職氏名	【エコ・クリーン政策課】 課長 石見 彩、主幹 榎本 覚、副主幹 村上 俊、主査 西村 卓也、主任 神田 啓佑
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### 【議題】

第三次入間市環境基本計画の中間見直しについて

第三次入間市環境基本計画の中間見直しの方針について市から説明を行い、審議委員による意見交換を行った。

(関連資料)

資料1「第三次入間市環境基本計画の中間見直しについて」

資料2「アンケート調査の実施について」

資料3「アンケート調査案」

以上

## 会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)
司会(榎本)	1 開会
	2 異動者への委嘱状交付 (人事異動等に伴い変更となった、団体選出の審議委員3名について、事務局より委嘱状を交付)
黒瀧会長	3 会長あいさつ
司会(榎本)	4 副会長の選出 (人事異動により不在となった副会長について、高村委員の推薦により、山畑委員を選出)
事務局(西村)	5 議題 (資料1「第三次入間市環境基本計画の中間見直しについて」について説明)
黒瀧会長	本年度この見直しを行うことに賛成の方、反対の方もいるかもしれません。意見等がある方は挙手をお願いします。
嶋田委員	このタイミングで改定をすることは、非常に良いことなのではないかと思えます。ただし期限について、地球温暖化対策実行計画や、SDGs の目標でもある2030年を目標年度として合わせるという話がありましたが、必ずしもそこに合わせる必要があるのかどうかは議論しておいたほうがよいのではないのでしょうか。
黒瀧会長	期間についてはこの次の議題としたいので、まず皆さまは、この見直しに対して他に意見があればお伺いします。ご意見があるかたはお願いします。
新関委員	確かに昨年度、新しい指標が必要ではないかという状況だったので、見直

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>しをしてもらえるとありがたいというのが1点目です。</p> <p>2点目は、より幅広い基本方針などの見直しですが、見直しの範囲について、どれくらいの規模で行うかということは、少し皆さまと議論できればと思います。</p> <p>今、新関委員から話があった点については、この後、議論したいと考えています。</p> <p>見直しに対して審議会としての結論を出します。見直しに賛成の方は挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>全員総意ということで、見直しを行うことにします。</p> <p>続いて各論に移ります。まず、計画期間を現行では令和11年までとしていましたが、1年延長して令和12年、2030年までをこの対象期間としたいという話がありました。こちらについて、皆さまの意見を募ります。意見がある方はいますか。</p>
平塚委員	<p>1年の延長をして2030年になると、パリ協定やSDGsの目標達成の評価が決まってきます。従って、来年度に向けて計画を上手に作っておけば2030年でよいと思いますが、そうしたところを踏まえて作らなければ、ラストの2年か3年で一気に、国や国内外の動向に追い付いていない計画になります。それが最もよくないと思うので、その点だけ発言をしました。</p>
黒瀧会長	<p>2030年はSDGsや46%の削減目標達成などさまざまな課題、要するにKGIが達成されているかどうか問われる年であるため、計画をしっかりと作らなければならないとのことでした。他に、皆さまから意見はありますか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
稲子谷委員	<p>これは事務局への確認です。入間市地球温暖化対策実行計画は2030年までとなっています。こちらは2030年まで走り切る計画になっているのか、それともどこかのタイミングで計画変更等を考えているのかを教えてください。というのは、上位の環境基本計画との整合はきちんと見ていかなければなりません。</p>
事務局(西村)	<p>温暖化対策実行計画は、最終的にカーボンニュートラルを目指す中で2030年を中間目標とし、市内全体で46%減の目標としています。従って、今後、例えば国の目標が46%より高くなることがあれば、また変更について審議をしていただいたり、こちらで検討したりしなければならないところかとは思いますが、現行では、最近の動向に合わせて作った計画となっているため、2030年まではこの計画を適用したいと考えています。環境基本計画で定めていないことや環境基本計画よりレベルの高い目標を設定している部分があるので、その整合を取りたいというのも今回の改定の目的です。従って、計画期間もそれに合わせたほうが、こちらとしても進めやすいと考えた上での提案です。</p>
黒瀧会長	<p>稲子谷委員、よろしいですか。 では嶋田委員、お願いします。</p>
嶋田委員	<p>1年の延長なので、実質それほど大きな影響はないのかもしれませんが、計画期間が長くなれば、その間に社会的な状況が変わる可能性は増えてくると思います。実際に、パリ協定の目標も来年、中間見直しを行うことが予定されていて、二酸化炭素排出削減量については46%ではなく、恐らくそれよりも上積みされる目標が、来年の初頭に出てくる可能性があると思います。そのため、そうしたことがあり得るということを前提に、環境基本計画の目標設定も、</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>柔軟に対応できるような目標にしておく必要はあるのではないのでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。他に意見のある方はいますか。これまでの話を聞くと、条件付きですが、計画期間の延長は問題ないのではないかという意見になろうかと思います。</p>
平井委員	<p>入間市の地球温暖化対策実行計画は、7カ年という割と長めの設定になっています。計画期間の途中で確認や見直しなどは設定されていないのですか。</p>
事務局(村上)	<p>実行計画を策定した時点では、具体的に何年に見直しをする必要があるかという点は決まっていませんでした。しかし、当然、中間での確認は必要としています。従って、時期は具体的ではありませんが、7年の中間として、1年後か2年後には確認する必要があると考えています。</p>
黒瀧会長	<p>それでは審議会の取りまとめを行います。この計画期間を1年延長することに賛成の方、挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>全員一致で1年延長すると、審議会として結論を出します。</p> <p>続いて、望ましい環境像について、事務局としては継続したいという話でした。これに対して皆さまの意見を募ります。意見のある方はいますか。</p>
平塚委員	<p>3点述べます。1点目は今いただいた、望ましい環境像についてです。主語は恐らく「入間市民が」ということだと思います。しかし、見直しの理由に挙がっている国内外の動向はほぼ外部要因で、国が作った計画や国際動向です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>主語が入間市民ということであれば、もう少し内部の要因を含めたファクターがあってもよいのではないのでしょうか。</p> <p>2点目は、前回の評価のときに思ったのは、点数や人数などで書いていくと分かりにくいということです。点数を付けても構いませんし、そこに作文で2行、3行、付け加えることによって違ってくるのではないかと考えています。</p> <p>3点目は、11 ページで基本方針 1 を分けようとなっていて、「温暖化対策の推進」と矢印でつながっているものは「再生可能エネルギー」とあります。エネルギー源を変えることは一つの方法だと思いますが、削減をどのように進めていくかの章立てがないということであれば、加えたほうがよいのではないのでしょうか。</p> <p>基本方針の見直しや評価指標の話については後ほど審議したいと思います。平塚委員の話では、望ましい環境像について、見直しの理由が外部要因であることに對し、内部ファクターがあったほうがよいのではないかとということで、それを望ましい環境像に加えたほうがよいという意見でした。他に意見のある方はいますか。</p>
嶋田委員	<p>今回の見直しの特に重要な点は、カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーを明確に盛り込むことだと思います。カーボンニュートラルとネイチャーポジティブは、いわばスローガンの中に入っていますが、サーキュラーエコノミーがやや読み取りづらいです。望ましい環境像の「一人ひとりが、身近な生活レベルから地球環境の保全に貢献できるまち」に對応しているのだと思いますが、文言として資源循環など、何か言葉として入れたほうが明確になるのではないのでしょうか。</p>
黒瀧会長	<p>嶋田委員の話のとおり、「一人ひとりが、身近な生活レベルから地球環境の保全に貢献できるまち」という文言には非常に曖昧に感じる部分があります。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高村委員	<p>今のところ、変えたほうがよいのではないかという意見が優勢になっていますが、他の方々の意見を募ります。</p> <p>今のところ、これにいろいろ追加をしていくという話でしょうか。私は、こうしたものはあまりいろいろあると逆に曖昧になってしまうので、基本的にシンプルがよいという意見です。</p>
黒瀧会長	<p>高村委員は、作文の内容をあまり詰め込むのはどうなのかとのことで、現在の環境像で問題ないと思うという意見でした。</p> <p>3名の方から意見が出ました。2名の方が、内容を検討して変えたほうがよいのではないかという意見、1名の方が、そのままよいのではないかという意見でした。他に意見がないようなので、審議会として結論を出します。望ましい環境像について、変えたほうがよいと考える方は挙手をお願いします。</p> <p>(2名挙手)</p> <p>2名です。そのままよいと考える方は挙手をお願いします。</p> <p>(8名挙手)</p> <p>8名です。従って、変えなくてよいという考えの方が過半数となっているので、審議会の結論としては、望ましい環境像は変更しないと決定します。</p>
平塚委員	<p>環境像について異論はありませんが、見直しの理由が合っていないのではないかというのが私の発言でした。その点は事務局にご確認いただければと思っています。入間市の特徴を踏まえた上での見直しの理由があってもよいのではないかという意見です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>見直しの動機として、記述があればよい気がします。平塚委員が述べたとおり、今回の見直しの理由として資料に入れていた内容は、外部要因ばかりです。入間市としてどうかというものがあつたほうがよいということによろしいですか。それを見直しの動機として加えたほうがよいのではないかという意見です。こちらは、今後の見直しの中で明らかにしてもらえればと思います。</p>
新関委員	<p>入間市の特徴というか、他の自治体でない環境についての特性の強調は、確かにあってよいかもしれません。世の中の方針としてもその必要性が非常に高まってきているから見直す、という論法があってもよいと私も感じました。</p>
黒瀧会長	<p>平塚委員、新関委員の意見は、非常に参考にさせていただきたい内容かと思えます。今の話は本日の審議事項ではないので、審議はしませんが、今後、見直しの内容を具現化するに当たり、お二方の意見が反映されていれればと私も思っているのです、事務局の方々、お願いします。</p> <p>それでは、3番目の議題に移ります。基本方針・施策・取り組みについてです。まず先ほどから出ている基本方針1については、地球温暖化対策の推進と循環型社会の推進を分けたいという事務局の意見がありました。そして、基本方針2については、生物多様性の保全を追加したいという話がありました。また、基本方針3から5は基本的に踏襲というのが事務局の考えですが、こちらについて意見を募ります。意見のある方はいますか。先ほどの平塚委員の話もありますが、他にありますか。</p>
稲子谷委員	<p>2点述べます。まず、温暖化の部分と循環型社会の部分に分けるという事務局案に、私としては賛成です。現在、とりわけ脱炭素の部分、そしてサーキュラーエコノミーの部分でかなり動きがあるので、記載を充実してもらおうという観点でも二つに分けてもらってよいと思います。一方で、どの分野も非常に</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>密接に関連しています。例えば廃棄物も、単純な話で、焼却する量が減れば、その分 CO<sub>2</sub>が減るという観点もあるので、そうした点は意識しつつ分けるということであれば、私としては問題ないと考えます。</p> <p>もう一点、これは意見というより情報共有です。基本方針5、環境学習の推進と環境活動の実践は外せないと考えています。先般、環境教育等の促進法という基本方針の変更があり、そこでいくつか盛り込まれた事項があります。その中の一つとして、これまで非常に重視されていた体験活動は引き続き重要です。加えて、多様な主体同士の対話と協働というところが盛り込まれています。すなわち、学校という場がとても重要になってきますが、先生方も非常に忙しいので、地域のコミュニティーでいろいろと活動している皆さまと一緒に取り組んでいくこと自体が非常に重要だということが盛り込まれています。</p> <p>議事の内容としては、基本方針1については、分けることは問題ないという考えでした。また基本方針5に対して、環境学習について貴重な情報共有がありました。他に意見のある方はいますか。</p>
平井委員	<p>基本方針5の環境学習の推進を、できれば環境教育という名前にしたほうがよいのではないかと考えています。総合的な学習の時間の、生きる力の醸成という観点で考えると、学校教育の中に埋め込んで地域の人と絡むようにしていったほうが、より効果的に学習成果が上がっていくと思います。そして、入間川やこうした里山の自然環境を使い、入間市の特性を活かした教育もできるのではないのでしょうか。</p>
黒瀧会長	<p>基本方針5について、環境学習ではなく環境教育にしてはどうかという意見でした。</p>
坂野委員	<p>まず確認します。14ページから16ページの基本施策と具体的取り組みに関</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>しても、今ここで決定する必要があるのですか。それとも、このあたりはまた次回以降で細かくできる場があるのでしょうか。というのも、具体になっていくほど気になるところが増えるのではないかという気がしたので、まずは議事進行についての質問です。</p>
黒瀧会長	<p>14ページから16ページについては、今後、見直しの案が出てきたときに、詳細に議論していくことになると思います。従って、この基本方針自体をどうするのかというところのみを、本日の議題として認識しています。</p>
坂野委員	<p>事務局もその認識で間違いないですか。それなら大丈夫です。よければ、そのまま方針に関してのみ意見します。今回の提案のとおり、基本方針1を2つに分けるという点は大いに賛成です。これが1点目です。</p> <p>豊かな自然環境の保全というところは、指標を含め、保全をしているだけではなく再生させていくというところに関しても、考え方としては含めていく必要があるのではないかと考えています。30by30という話もありましたし、ネイチャーポジティブという言葉も書いてくれているので、考え方の中では検討してもらっていると認識しています。文言として具体的に保全から変えてほしいというつもりはありませんが、そのニュアンスをしっかりと含めてほしいです。</p>
黒瀧会長	<p>坂野委員からは、基本方針2、豊かな自然環境の保全、生物多様性の保全を追加するという点に関して、自然環境の再生も含めたほうがよいのではないかとということで、今後その辺りのニュアンスを含めて提示してほしいという意見でした。他に意見はありますか。</p>
嶋田委員	<p>基本方針2についてです。ネイチャーポジティブや 30by30、自然共生サイト、いわば国の生物多様性国家戦略に盛り込んでいるようなものをきちんと書くことは、非常に良いことだと思います。しかし現在、各自治体で生物多様</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局(西村)	<p>性地域戦略を作っている所がいくつかあります。場合によっては基本方針2をかなり充実させ、基本計画の中に入間市の生物多様性戦略を盛り込んでしまうという考え方もあるのではないかと思います。そうした考えがあるのかをお聞かせください。</p> <p>事務局からお答えします。現在、生物多様性の部分が重要になっているので、これから実際に施策や、市としてできることを見ていき、そこを盛り込んでいけるかどうかだと思います。入れるか入れないかは、現在の関係する施策担当課との調整等も必要になってくるので、現段階ではお答えできかねますが、そうした方向性もあるということで、調整、確認が必要だと思っています。</p>
嶋田委員	<p>今の件については、必ずしもこの場で答えてほしいというよりは、ぜひそこも含めて研究というか、検討をしたほうがよいのではないかという意見です。</p>
黒瀧会長	<p>他に意見はありますか。よろしいですか。委員の意見をまとめると、基本方針1については分けてもよいけれども、例えば地球温暖化については、再生可能エネルギーだけではなく削減の点も入れてほしいという意見がありました。そして、サーキュラーエコノミーという観点も考えていったほうがよいということでしょうか。基本方針2については、生物多様性に対して深く考えてほしいということと、再生という観点も含めてほしいという意見がありました。基本方針5については、環境学習という言葉を経済教育に変えたほうがよいのではないかという意見がありました。</p> <p>こちらについて、今の委員の意見を踏まえた変更をお願いするのか、事務局の素案でよいのか、審議会としての結論を出したいと思います。採決します。審議会の委員の方々の意見を踏まえた変更をしたほうがよいという考えの方、挙手をお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>(過半数挙手)</p> <p>過半数となったので、審議会の委員の意見を踏まえた基本方針の変更をお願いするというので、審議会の結論とします。</p> <p>続いて4点目です。事務局からは、これまでは Key Performance Indicator だったけれども、それを成果指標、Key Goal Indicator に変えたいという話がありました。先ほどの意見は、これまでの評価指標に 2、3 行、追加してブラッシュアップすればよいのではないかという意見でした。他にありませんか。</p>
坂野委員	<p>その意見について言うと、私は事務局案に賛成で、変更したほうがよいと考えます。</p>
黒瀧会長	<p>ただいまの坂野委員の意見は、移行したほうがよいのではないかという話でした。他に意見がなければ、審議会の意見として決を採ります。委員から二つの意見がありました。事務局案のとおり成果指標へ移行してもよいという意見と、内容をレビューし、それぞれ合った内容を 2、3 行、追加して作文したらよいのではないかという意見です。事務局案でよいという考えの方、挙手をお願いします。</p>
	<p>(過半数挙手)</p> <p>過半数なので、事務局案のとおり指標を変えるという意見を、審議会の決定事項とします。</p> <p>審議事項は以上です。ありがとうございます。審議内容は以上ですが、見直し全般を通して何か意見はありますか。</p> <p>では、審議内容以外のことについて、委員の方から何かありますか。なけれ</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局(西村)	<p>ば、1 の、見直しの方針についての議事は以上とします。続いて、2 のアンケート調査について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(資料2「アンケート調査の実施について」について説明)</p> <p>アンケートの詳しい内容をここで議論していただくと、長くなってしまうため、基本的には現在のアンケート案を再度事務局でブラッシュアップして送付する予定です。もし、アンケートに追加した方が良いものやお気づきの点がありましたら、7月10日までにメール等で意見をいただけましたら、できるだけ反映したいと思っています。今は、このアンケートについての質問や、アンケートの対象などの根本的なところでの意見や質問があれば、お願いします。</p>
黒瀧会長	<p>アンケートの内容について、事務局から説明がありました。事務局からのお願いのとおり、こうしたものを入れたほうがよいなどの提案があれば、別途メールでお願いします。本日は、アンケートの実施に対して質問があれば伺います。</p>
平井委員	<p>市内の中学2年生全員を想定とのことですが、入間市だと、恐らく私立や国立の中学校に行っている生徒が一定数いると思います。それは除外ですか。</p>
事務局(西村)	<p>そこは想定しておらず、大変申し訳ないです。貴重なご意見ありがとうございます。基本的には依頼しやすいところで、市のシステムを使って送信できる市立中学校を対象に考えていました。私立や国立の中学校に通っている生徒への適切な依頼方法があれば付け足せるかもしれないため、関係部署に相談してみますが、たくさんの方に回答していただくために夏休み前に配信したい事情があり、期間に余裕もないため、痛いところではありますが、今回はできる範囲での実施とさせていただきますと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	今回は市立の中学生と考えてよいのですか。
事務局(西村)	そうです。
黒瀧会長	他に質問のある方はいますか。
平塚委員	<p>これは経年的に行う調査ですか。そうであれば、今回、過去との比較ができると思いました。</p> <p>もう一点、もしかしたら面白いかもしれないと思ったことがあります。例えば、所沢市や飯能市でもアンケート調査をしていると思うので、同じような設問を入れておくと、入間市の特徴が見えてきます。同じなのか、違うのかを把握するためには、そうした設問は非常に効果的だと思います。</p>
黒瀧会長	意見として、ご検討ください。他に質問のある方はいますか。
高村委員	事業所アンケートで問11が、「かなり行っている」、「時々行っている」、「あまり行っている」、「全く行っている」となっていますが、これは正しいですか。
事務局(西村)	「いない」です。失礼しました。直します。
嶋田委員	平塚委員の話と似ていますが、入間市のことが分かるだけでなく、他とどう違うかを把握することは大事だと思っています。その意味では恐らくコンサル会社が他の市町村などでも調査している可能性があるので、同じような設問を使ってどう違うのかを抽出し、特徴を把握することが大事だと思いました。
黒瀧会長	この内容も踏まえてご検討ください。他にありますか。よろしいですか。で

発 言 者	発 言 内 容
事務局(西村)	<p>は、本日の議事は以上となります。私は議長の座を降ります。ありがとうございました。</p> <p>6 その他</p> <p>事務局から2点、説明します。1点目は今後のスケジュールです。資料3で配ったとおり、本年度は7回実施予定です。次回は8月2日金曜日午後2時から大会議室で行います。審議会の議題については、第1回から第3回までは、施策、取り組み、指標等について皆さまにさまざまな意見をいただき、第4回で市長から素案をもって諮問します。そこから計画案について皆さまに詳細に審議してもらいます。そして、パブリックコメントで3月に答申をいただき、そのまま改定計画を出していくという形で進められればと考えています。</p> <p>2点目です。先ほど説明したとおり、アンケート案をメールで送ります。もし気付いたところがあれば、1週間後の7月10日頃までにメール等でご連絡ください。</p>
山畑副会長	<p>7 閉会</p> <p>(閉会のあいさつ)</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和6年8月2日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>黒龍孝丞</u></p> <p>議長が指名した者の署名 <u>山畑雅浩</u></p>	